

社会プリント

9 資源・エネルギーのかたよる分布

めあて

生活や産業で使われる資源やエネルギーは、どこからきているの？

資源：分布にかたよりのある。

例、日本で使われている石油は、_____ %が外国産。

ほとんどがサウジアラビアなどの（1 _____）地域で採れるものを輸入。

エネルギー：資源を使って生み出す。

燃やして水をあたためると、
水が沸騰し、水蒸気に。

その膨張する勢いで、ものを動かす。

エネルギー：ものを動かすのに必要な力。
車も、機械もこれが必要です。

燃やすもの：石油・石炭・天然ガスなど。

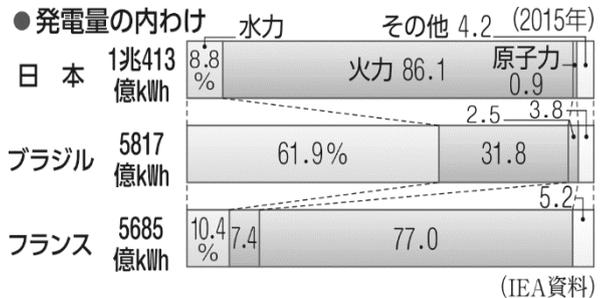
→ 燃やすと、(2 _____) が発生する。

→ (3 _____) の原因になる。

※ 石炭、石油、天然ガスなどの資源には、限りがある。

→ 未来の世代も考えた、(4 _____) が必要。

○ エネルギーの大半は (5 _____) として利用される。



発電方法

水力、火力、原子力が多い。→ 水力：水の落ちる力、

火力：燃料を燃やした水蒸気の熱

原子力：核融合の力による熱

で発電機を回し、電気をつくる。

発電方法	場所	長所	短所
(6 _____) 発電	川の上流の山間部	・ 二酸化炭素が出ない	・ 建設時に自然破壊が起きる。
(7 _____) 発電	大都市に近い海沿い	・ 都市の近くに建設しやすい ・ 発電効率が良い	・ 二酸化炭素が出る ・ 資源に限りがある
(8 _____) 発電	冷却水を得やすい海沿い	・ 二酸化炭素が出ない ・ 発電効率が良い	・ 事故時の被害が大きい (2011年 福島第一発電所) ・ 発電後のごみの処理が大変

新しい発電方法

・ (9 _____) エネルギー：太陽光、風力、波力、地熱など

(10 _____) 発電：生物資源に由来。動物のふんから出るメタンガスを使用するなど。

めあてに対するこたえ

めあて 日本の産業の構成はどのように変化したの？

産業・・・何かをつくる（産み出す）仕事（業）。

何を相手にしているかによって、第一次から第三次までである。

第一次産業・・・（1 ）を相手にしている。農業・漁業など。

アメリカでは（2 ）を用いて、大規模に行っている。

日本では小規模なものが多い。

→（3 ）により、海外産の安い農産物に押されている。

→（4 ）の低下【日本人の消費カロリーの37%のみ国産】

第二次産業・・・（5 ）を相手にしている。【平たくいうと、ものづくり=工業。】

日本は世界有数の工業国。ただし、原材料が採れない。

→外国から原料（鉄鉱石や石油など）を輸入し、製品にして輸出する

（6 ）がさかん。

工業地域は主に海沿い、九州から関東にかけての太平洋沿いに多い

=（7 ）が中心。

ただし、最近は海外生産が多い。【君たちの周りのものは、MADE IN どこですか？】

→工場が海外に移転し、国内工業がおとろえる（7 ）が課題に。

第三次産業・・・（8 ）を相手にする職業。商業・サービス業など。=お店なども。

日本はこれがメインです。

※ 先進国は第__次産業が多い傾向。

（右の図のA・・・一次、B・・・二次、C・・・三次）

世界では、国境を越えた人・もの・情報のやりとりが活発になっている。

例1、東京 ~ ロンドンの所要時間

1900 年には _____日、2009 年には

日に！

例2、外国のニュースや Youtube も一瞬で見ることができますよね！

→（9 ）の発達によるもの

インターネットや携帯電話、スマートフォンの普及により、（10 ）になっている。

外国にものを運ぶとき

・重いもの（鉱産資源・自動車・大型機械など）・・・（11

）を使用



・軽い、スピード命なもの（食品・電子部品など）・・・（12

）を使用



めあての答えをかいてみよう。

Blank box for writing answers.

●各国の産業別人口構成 (2016年)

アメリカ 1億5144 万人	B 18.4	C 80.2
日本 1億2655 万人	A 1.4%	
タイ 6440 万人	24.3	72.3
タイ 3769 万人	3.4%	
	31.2%	23.1
		45.7

(ILO資料)